

2020年

夏号

山口県立こころの医療センター広報誌

# こころだより

特集

## 「新型コロナウイルスから 学べること～ COVID-19 ～」

病院の理念

県民の心の健康を支える  
質の高い医療の提供

COCORO  
START

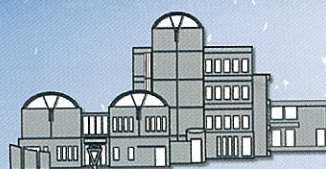
2020年

4月

新体制でスタート!

### 夏祭り中止のお知らせ こころの医療センターに赴任して 診療のご案内

編集：広報委員会  
発行：山口県立こころの医療センター  
山口県宇部市東岐波4004-2  
TEL:0836-58-2370 (代表)



地方独立行政法人  
山口県立病院機構



# 「新型コロナウイルスから学べること～COVID-19～」

とがわ けいいち  
感染管理認定看護師 戸川 桂一

現在、世間を騒がせている新型コロナウイルス～ COVID-19 ～、一般的な情報はメディアを通して皆さんに伝わっていることと思います。ここでは、今回の未知なるウイルスの流行から学べることを紹介致します。

## 【見えないウイルスに対する予防のむずかしさ】

マスク、手袋、手指衛生など、感染予防に必要なものが品薄に！ただ、それだけでは防げられないことを実感しているのでは。どのように伝播するか、一つ一つ考えて行動することが必要です。

例えば、マスクの取り扱いですが、ズれたマスクを上げるために何度も外側を触る、話すときにわざわざ口から外す、食事の前にポケットにしまう、その手はウイルスだらけです。その手で次にどんな行動をしていますか？また、食事の前、たばこの前、目をこする前、鼻をほじる前等に手をきれいにしないと、ウイルスを取り込んでしまいます。コロナウイルスに限ったことではありません。



## 【人に伝播させてしまうことの意味】

今回の新型コロナウイルスに限らず、健康な若い人には問題とならなくても、高齢の方や基礎疾患をお持ちの方にとっては、ただの風邪でさえ、健康に害を及ぼすこともあります。咳エチケットの考え方だけではなく、マナーとして、モラルとして、人に伝播させてしまうことの意味を考え直すいい機会として下さい。

**マナーを守ろう。**

<b>マスク着用</b>  ご協力ください	<b>咳エチケット</b>  お守りください	<b>離れて</b>  お並びください	<b>消毒</b>  ご協力ください
-----------------------------	------------------------------	---------------------------	--------------------------

## 【医療現場への労いと期待】

当院では、今現在、新型コロナウイルスの治療に携わっているわけではありませんが、医療現場では未知なるウイルスや細菌の発生に伴い、皆さんの命を守るために戦わなければなりません。治療は医療現場にしかできないことです。今まさに戦っている医療現場の人たちにエールをお願いします。また、今回の経験を活かし、医療現場の感染防止対策はさらに発展することと思います。当院も皆さんが安心できる医療現場を追い求めていきます。



医療に関わる皆様へ  
ありがとうございます

医療従事者にエールを。

# こころの医療センター夏祭り中止のお知らせ

地域連携室副室長 石原 弥生  
いしはら やよい

毎年、地域の皆さんと一緒に交流を深めていたこころの医療センター夏祭りですが、今年  
は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、残念ながら中止とさせていただきます。

## 当院での夏祭り

当院は、昭和 28 年 9 月に「県立病院静和荘」として宇部市中心部に開院し、昭和 43 年  
11 月に現在地へ移転しました。移転後、精神障害について理解していただき、協力をしてい  
ただいている地元の皆さんに感謝の気持ちと、これからもよろしくお願ひしたいという気持ち  
を含め、当院の夏祭りが開催され始めました。時代の流れと共に「県立こころの医療センター」  
へと名称が変わり、夏祭りもグラウンドから体育館での開催となる等の変遷はありましたが、今  
も地元の皆さんへの感謝と願ひの気持ちは変わりません。



昭和

昭和50年代



平成

平成10年代



令和

令和元年度

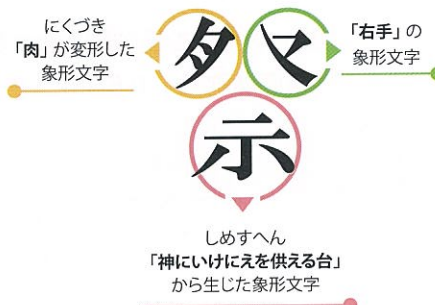
## 「祭」とは

「祭」は「肉+又+示」の3文字から成り立つ会意文字で、「肉」を  
「神にいけにえを供える台」に「ささげる」という意味を表しています。  
つまり、祭りは本来、『神に供物をささげて祈り慰霊を行う儀式』とさ  
れています。四季をもつ日本では、春夏秋冬それぞれの祭りが生み出さ  
れてきました。

## 夏祭りの由縁

かつては都市部で夏に疫病が流行するため、これを神のたたりと考え、祭りで疫病退散、厄除けを願ひ祭りが催されました。地方では台風や害虫などに成長した作物が損なわれないよう祭りが催されたように、夏祭りは、病気や災害をもたらす悪い霊を追い払うという意味から始まりました。

新型コロナウイルスで先の見えない不安はありますが、共にウイルスに打ち勝ち、来年はみんなで賑やかに夏祭りが開催できることを願っています。



# こころの医療センターに赴任して

こんにちは。4月にこころの医療センター事務部長に赴任しました秋本です。

最初に簡単な自己紹介をしますと、私は、平成元年に山口県庁に入庁し、至って真面目な社会人生活をスタート。はや30数年、元号も令和に変わる中、前職の県ぶちうまやまぐち推進課まで10箇所以上の職場を経験してきました。～ぶちうまやまぐち推進課・・・方言きつめの課名なので、他県の人との話題づくりでは助けられました。量販店での地産・地消フェアや県産米・日本酒の輸出業務などを支援している部署です。～

ただし、医療分野では約20年前、当時の医療担当課で許認可や地域医療・へき地医療の計画づくりに取り組んでいた程度で、病院での業務は初めてになります。

このため、不安しかない病院勤務でしたが、職員の皆さんに温かく迎えていただき、支障なく仕事を始められたことに感謝しています。

このように私を受け入れてくださった皆さんも、それぞれの持ち場では部門・部署、職種に関係なく誠意を込めて仕事に取り組んでいる姿が印象的です。加えて、この時期いつ来るかもわからない新型コロナウイルス感染症に備える使命感の強さも然り。出口の見えないトンネルを進むことはとても不安ですが、このようなしっかりした対応こそが日常の安心感をもたらしているのだと確信しました。(私も一刻も早く一員にならなければ。他人事ではない!と感じる次第です。)

私が所属する事務部も、多様な業務と向き合う中、病院内での連携や地域の皆さんとのコミュニケーションを大切にしながら、適正に職務を遂行し病院運営を支えていると自負しています。

まずは、私自身が～初心に帰り、仕事は基本的に忠実に～。この気持ちを忘れず努力していきたいと思います。至らない面は多々あろうかと思えます。が、自分にはまだまだ“伸びしろがある”と信じて、当院の理念「県民の心の健康を支える質の高い医療の提供」の実現を果たすため、一所懸命取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

あきもと あつし  
事務部長 秋本 篤志

## 診療のご案内

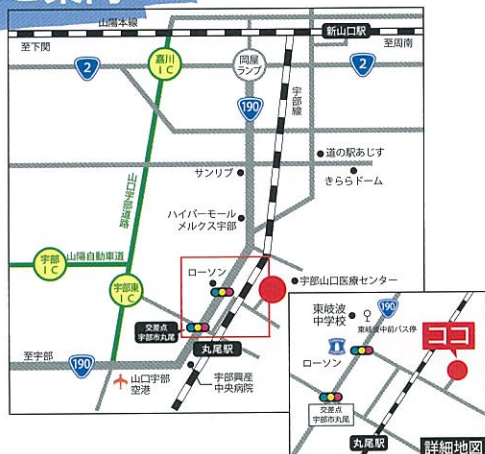
		外 来 診 察 担 当 医						
初 診		再 診						
月	(物忘れ・高次脳) 兼行 (児童・思春期・一般) 村田	(一般) 角田		磯村	藤田	(禁煙・第1・第3) 藤田・新造		
火				青島	坂倉			
水	(一般) 磯村			兼行	村田	新造	青島	坂倉 (AM) 山田 (PM)
木	(依存症) 藤田	(一般) 新造	(児童・思春期) 青島 (AM)	兼行	角田	山科		
金	(一般) 坂倉			藤田	青島	山田		

初診・再診とも予約制となっております。予めお電話でご予約されてこ来院ください。

外来直通電話：0836-58-2327



## 交通のご案内



お車/山口宇部道路「宇部東IC」より丸尾方面へ約5分  
電車/JR宇部線「丸尾駅」より徒歩約15分  
バス/宇部市営バス「東岐波中学校前」より徒歩10分

地方独立行政法人 山口県立病院機構  
山口県立こころの医療センター

〒755-0241 山口県宇部市東岐波4004-2  
TEL: 0836-58-2370 (代表)  
: 0836-58-2327 (外来直通)  
FAX: 0836-58-6503

こころの医療センター

<https://www.y-kokoro.jp/>

